

# 預金

日本人は預金が好き？



- トオル君は、お父さんやお母さんに、お小遣いの使い方について何か言われたことはある？
- 「無駄使いせずに貯金しなさい」って、いつも言われています……。
- 日本人は貯金好きだといわれているよ。でも、これは先進国では珍しいことなんだ。
- え、貯金はよくないってことですか？
- もちろん貯金も大切だよ。でも、他の方法でお金を増やすことに積極的な国が多いんだ。
- 確かに貯金がお金にとって一番いい使い道、という意識があるかもしれません。
- これからは、日本人もいろいろなお金との付き合い方を知ることが必要だといわれているんだ。

## 日本国民の金融資産の半分为現預金

人生の3大資金（→ P81）のため、そして自分の夢や目標のためにはまとまったお金が必要です。では、日本やほかの国では、資産（お金）をどのような方法でつくっているのでしょうか。

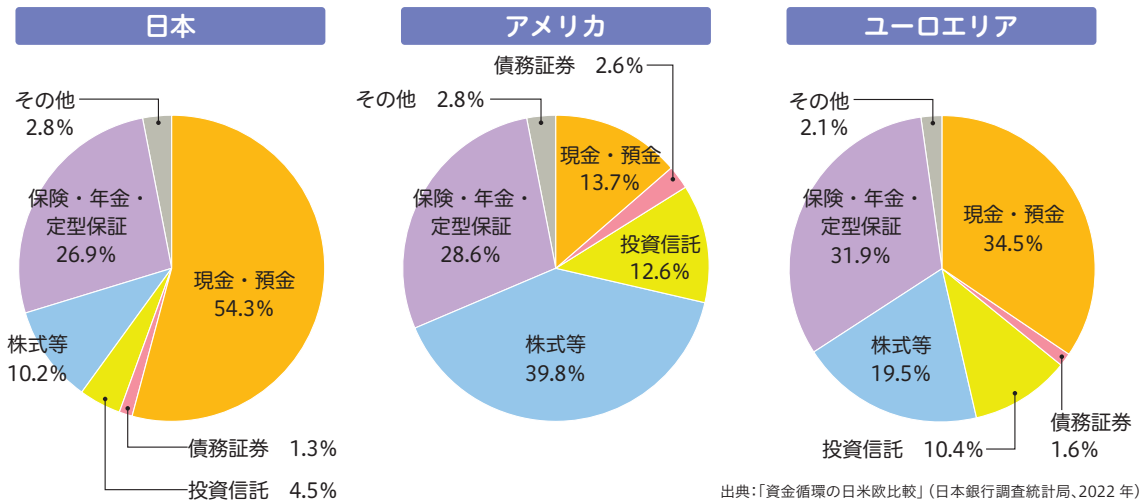
下のグラフは、日本とアメリカ、ユーロエリア（ヨーロッパ）の金融資産<sup>\*</sup>の構成比率を比較したものです。日本の現預金（現金と預金）の占める割合が、アメリカやユーロエリアと比べて非常に

大きいことがわかります。日本の個人金融資産は約 2,005 兆円で、現預金はその 54.3% の 1,088 兆円です。社会保障費や防衛費などに使われる日本の国家予算がおよそ 100 兆円なので、その 10 倍ほどのお金が銀行などに預けられていることになります。

一方、投資信託は、アメリカとユーロエリアの半分以下、株式等にいたっては、ユーロエリアの3分の1、アメリカの4分の1以下となっています。

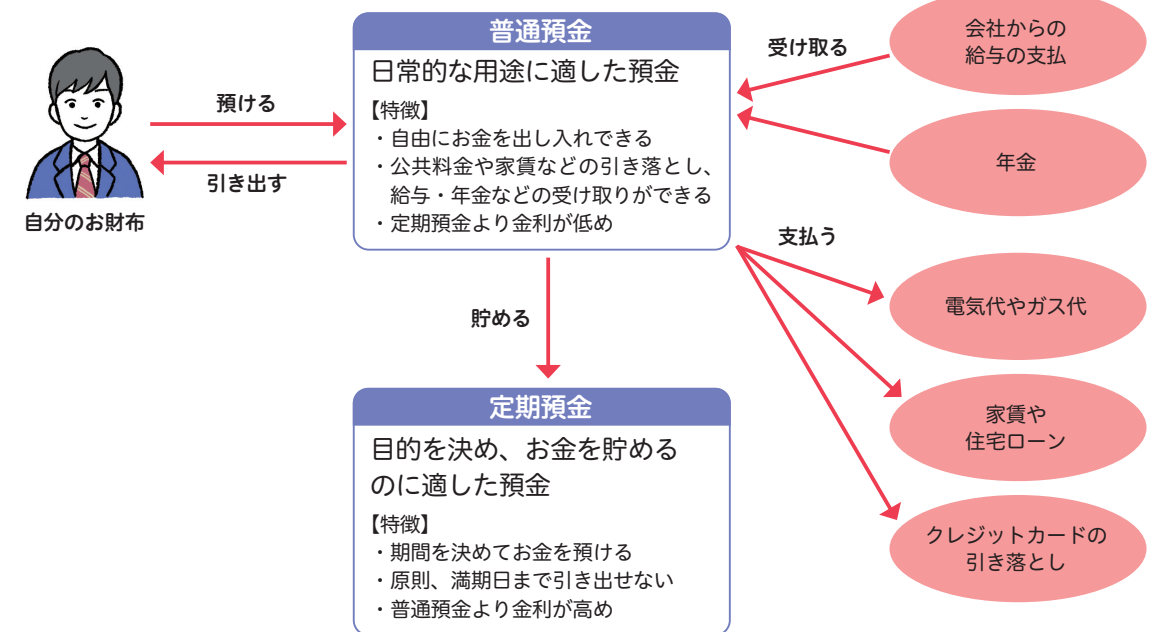
日本人の預金好きがはっきりと表れているとともに、投資による資産形成を避けている傾向もわかります。

### ◆日米欧の家計における金融資産の構成比率



<sup>\*</sup>金融資産：現金・預金・有価証券・貸出金などの形で保有する資産のこと

### ◆普通預金と定期預金



## 預金のメリットは？

では、日本人はなぜこれほど預金が好きなのでしょう。その理由を探るために、預金のメリットを考えてみましょう。主に次の3つが考えられます。

### ①（投資と比べると）安心・安全

預金なら、投資のように元本割れのリスクを心配する必要がありません。また、万が一お金を預けた金融機関が破綻しても、預金保険制度<sup>\*</sup>というしくみが整えられており、一定程度のお金を保障してくれます。このように、預金はほかの金融商品に比べ安全性が高いといえます。

### ② いつでも好きなときに使える

普通預金なら、銀行の店舗のほか、駅やコンビニに設置されたATMでいつでも好きなときに引き出すことができるので、急な出費にも対応することが可能です。

### ③ 手続きなどが簡単

銀行に行って手続きをすれば、すぐに口座を開設できます。また最近では、ネット銀行だけでなく、都市銀行などでもインターネットなどで自宅で口座を開設できる銀行も増えています。

また、お金を預けるには、株式投資などの特別

な知識は必要ありません。気軽に利用することができます。

このようにメリットを挙げると、預金の安全性の高さや利用のしやすさは、慎重な性格の日本人の好みとマッチしていそうです。ただ、性格だけでなく、日本人の金融リテラシーの低さも預金率の高さに影響を与えていると考えられています。

これまでお金について若いうちから学ぶ機会が少なかったことから、日本人はお金に対する知識が少ないことが指摘されています。金融広報中央委員会の調査によると、「金融知識に自信がある」と答えた人は、たった 12% でした（金融リテラシー調査 2022 年）。

ちなみに、同じ調査で「金融知識に自信がある」と答えた人の割合が 71% だったアメリカでは、子どもの頃から本格的な金融教育が行われています。例えば、アメリカの多くの学校で採用している民間団体「JumpStart」による金融教育基準『教育基準（ナショナルスタンダード）』では、11～13 歳で、すでに複利の計算方法や金融商品のリスク（不確実性）などを学ぶことになっています。

日本でも、2022 年 4 月から高校の授業で金融教育が義務化され、金融リテラシーの高まりが期待されています。

<sup>\*</sup>預金保険制度：金融機関が運営主体である預金保険機構に保険料を支払い、金融機関が破綻した場合に、一定程度の預金などを保護する保険制度

# 投資のしくみ

「お金が働く」ってどういうこと？



- ：ユウカさんは、投資についてどんなイメージがある？
- ：「ギャンブル」「怖い」「損をする」といったイメージが強いですね……。
- ：日本人はユウカさんのように投資にマイナスのイメージをもつ人が多いんだ。実際、投資をすると損をする可能性があることは確かだしね。
- ：じゃあ、投資とギャンブルはどう違うんでしょう？
- ：投資とギャンブルは、そもそもしくみが違っているんだよ。投資には、ギャンブルと違って、自分の知識を高めることなるべく損をしないようにする方法もある。また、社会の発展を応援する社会的意義もあるんだ。
- ：投資には誤解が多いんですね！

## 投資の基本的なしくみ

お金を増やす最も基本となる方法は、働くことです。労働の対価としてお給料をもらい、それを預金に回せば、少しずつでもお金を着実に増やすことができます。

一方、価格の変動がある金融商品にお金を出して利益を得ることを投資といいます。自分自身が働くのではなく、お金を出すことによってお金を増やそうとすることから、投資のことを「お金に働いてもらう」ということもあります。

投資で得られる利益は、時期によって大きく2つに分けられます。

1つ目は、もっていた金融商品を売却したときに得られる差額による利益です。例えば、株式投資をした場合、株を売るときに買ったときよりも

株価が値上がりしていれば、その差額が利益となります。ただし、売るときに株価が値下がりしていれば、元本割れをして損をしてしまいます。

2つ目は、金融商品をもっている間に得られる利益です。例えば、株式投資をした場合に得られる配当金や、投資先の会社の商品やサービスなどが提供される株主優待を指します。

## 投資＝ギャンブル？

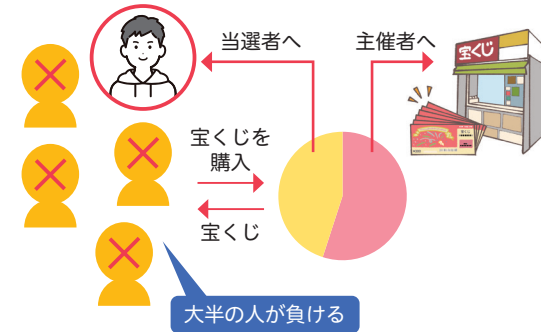
投資と聞くと、「ギャンブル」というイメージをもつ人も多いかもしれません。

競馬や競輪、パチンコなどのギャンブルと投資の大きな違いの一つは「お金を受け取る側と支払う側の関係性」です。

ギャンブルはそもそも、主催する自治体や企業

## ◆ギャンブルと投資の仕組み

ギャンブル（宝くじ）



投資



が多くもうけて「勝てる」しくみとなっています。総務省の資料によると、主催者がギャンブルの購入者から集めた資金を参加者に還元する比率は、宝くじは45.7%、競馬・競輪などの公営競技は58.5%、サッカーくじは49.6%です（平成20年度数値）。

例えば、宝くじなら、集めたお金のおよそ半分が主催者の取り分になり、残りの半分が当選者に配分されます。300円の宝くじを1枚買ったなら、買った瞬間に約150円を失っていることになります。しかも、当選しなかった多くの購入者は、宝くじ購入に支払ったお金をまるまる損してしまう「負け」の結果となります。

宝くじや競馬などは、主催者の利益が公共事業にも利用されるので、やみくもに悪いイメージでとらえる必要はありません。ただ、ギャンブルは、ゲーム的性質が強いものです。ギャンブル依存症<sup>\*</sup>になる危険性もあり、節度ある付き合いが求められます。

一方、投資は、自分が応援したい企業や自治体に活動資金を提供し、その成長から投資をした人に利益が還元される「Win-Win」の関係を目指すしくみとなっています。

そして損失があったとしても、元金がゼロになることはほとんどありません。「運」が大きな勝負要素であるギャンブルと違い、なるべく損失を少なくする方法もあり、長期的には利益を得られる可能性が高くなります。

## じっくり育てる投資と短期決戦な投機

投資と似た言葉に「投機」があります。

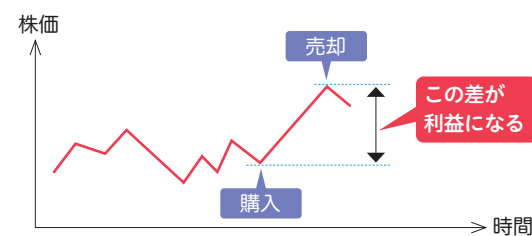
投資は、投資先や社会の経済成長などに注目し、その成長からもたらされた利益を受け取るものです。したがって、長い時間をかけてお金を育てる姿勢が求められます。

一方、投機は、投資先の短期的な値動きを見定めて利益を得ることを目指します。安く買って高く売ることを狙った取引を短期間でくりかえすことになります。短期間の価格の変動に振り回され、勝つか負けるかの要素が強く、性質的にはギャンブルと近いものになります。

「投資＝ギャンブル」というイメージをもつ人は、この投機と投資を混同していることが多いです。投資と、ギャンブルや投機の違いを知れば、

## ◆投資で得られる2つの利益

① 売却したときに得られる利益

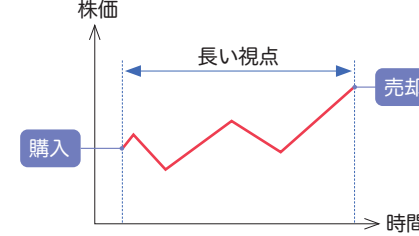


② もっている間に得られる利益

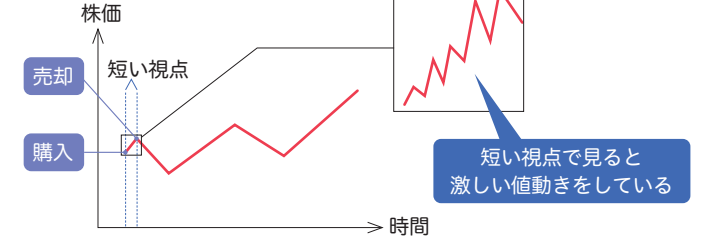


## ◆投資と投機

投資



投機



<sup>\*</sup>ギャンブル依存症：日常生活や社会生活に支障が出るほどギャンブルにのめりこんでしまう精神疾患の一つ